

平成27年度採択

文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

超高齢・人口減少社会における 若者の地元定着の促進と若者の育成

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」とは

地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地(知)の拠点整備事業(COC<Center of Community>事業)」を発展させ、大学が、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要なカリキュラム改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする事業です。

秋田大学 秋田県立大学 秋田工業高等専門学校
秋田創生COC+協議会

COC+事業の概要

事業名：超高齢・人口減少社会における若者の地元定着の促進と若者の育成

少子高齢化、人口減少が続く秋田県にあって、秋田大学、秋田県立大学、秋田工業高等専門学校の3校が、文部科学省の支援を受け、秋田県や県内経済団体等と連携して「3本の柱の取組」を推進することにより、学生の県内就職率を5年間で10%アップすることを目指しています。

- **第1の柱：6大学連携「秋田おらほ学」の展開**
→ 地域アイデンティティを持つ学生の育成
- **第2の柱：大学と地元企業群による若者の県内就職・定着支援**
→ 学生と地元企業のマッチングの拡充
- **第3の柱：ふるさと秋田の魅力形成モデルづくり**
→ 交流人口の拡大と助け合い社会の構築

秋田創生 COC + 協議会

事業協働地域（秋田県）が一体となってCOC+事業を推進するため、平成28年6月に「秋田創生COC+協議会」を設立しました。COC+全体の事業計画等について協議するとともに、各組織が連携しながら若者の地元定着の取組を推進しています。また、下部組織として、第1の柱「秋田おらほ学」を展開するため、「教育プログラム開発委員会」と「6大学『秋田おらほ学』検討委員会」を設置しています。

<構成団体>

- COC+責任大学：秋田大学
- COC+参加校：秋田県立大学、秋田工業高等専門学校
- COC+協力校：国際教養大学、秋田公立美術大学、日本赤十字秋田看護大学
- 参加自治体：秋田県
- 参加企業等：秋田商工会議所、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、秋田県ふるさと定住機構、秋田銀行、北都銀行、秋田高専産学協力会



数値目標

COC+事業の主な数値目標は、3大学の学生の県内就職率を5年間で10%アップすることです。高いハードルですが、一人でも多くの学生が秋田県内に就職できるよう取組を進めています。

	平成27年3月卒(基準)	平成32年3月卒(目標)
3大学合計の県内就職率	30.0%	39.9%
秋田大学	37.9%	48.0%
秋田県立大学	19.3%	29.4%
秋田高専	9.5%	20.0%

取組概要

第1の柱：6大学連携「秋田おらほ学」の展開

地域アイデンティティを持った学生を育成するため、第1段階として、3大学独自の認証制度により地域志向教育の充実を図り、その後、6大学連携「秋田おらほ学」認証制度を構築し、「大学コンソーシアム秋田」の単位互換制度等を活用して、他大学への拡大を目指します。

秋田大学：「COCキャリア認証プログラム」（あきた創生推進士の称号）

教育文化学部地域文化学科の教育プログラム（秋田学基礎、地域学基礎、地域連携プロジェクトゼミ等）をベースに、地域志向科目の拡充を図り、地域課題解決に主体的に行動できる人材を育成します。

認証要件（1）：地域志向科目を10単位以上修得

認証要件（2）：単位は教養基礎教育科目等から修得

H 29：COCキャリア認証プログラムのスタート

（第1期95名が修了）

H 30：「秋田の環境と資源」（理工学部必修）の開講

H 31：「秋田の暮らし」、「秋田の産業」、
「秋田の産業史と経済の成り立ち」、
「秋田の地域資源と観光」などの開講
（全校共通教養基礎教育科目）



あきた創生推進士の称号授与式

秋田県立大学：「あきた地域学課程」（地域創生推進士の称号）

地域と大学が協働し、秋田の地域課題などを自分のものとして捉え、考え、解決に乗り出せる人材を育成します。

H 29：「あきた地域学」の開講

（標準コース、全学1年生必修・2単位）

H 30：「あきた地域学アドバンス」の開講

（上級コース、2年生以上選択・2単位）



「あきた地域学」実習発表会

秋田高専：「地域教育プログラム」（地域教育プログラム修了証）

地域の産業や環境の課題を発見、解決するための知識と実践力を教員と地域の実務家教員の共同教育により育成します。

認証要件：「地域産業Ⅰ」、「地域産業Ⅱ」、「地域史」、
「地域計画」（以上2単位相当）、「地域密着型
校外実習」の修得、「COC+講演会」の履修

H 28：「COC+講演会」、「地域産業Ⅰ」の開講

H 29：「地域産業Ⅱ」、「地域計画」の開講

H 30：「地域史」の開講



COC+講演会

6大学連携「秋田おらほ学認証」制度の構築

地域志向科目の学修を通じて、秋田の魅力や現状を理解し、地域課題解決の意欲を有すると認められる学生を「秋田創生COC+協議会」が認証する制度。秋田を愛し、秋田のために頑張ろうという学生が、県内企業や自治体への就職を目指します。

認証要件（1）：各大学が定める一定数の地域志向科目の修了（3科目6単位以上）

認証要件（2）：県内事業所におけるインターンシップ

認証要件（3）：地域課題解決に向けた取組、意欲に関する小論文の審査

H 31：第1期の認証を予定（4月、10月）

第2の柱：大学と地元企業群による県内就職・定着支援

県内大学と地元経済団体や企業が連携し、インターンシップなど学生と県内企業のマッチングの機会を拡充することにより、県内就職率の拡大を目指します。

「秋田就職サポート会議」の開催（年2回）

学生の県内就職率アップを図るため、県内6大学と秋田県、経済3団体や金融機関などの事業協働機関の就職担当者が一堂に会し、各団体の取組に関する情報共有や、今後の対策強化についての意見交換を行うことを目的に毎年2回開催し、連携による効果的な事業実施を促進しています。



「秋田ものづくりオープンカレッジ」の開催

秋田大学、秋田県立大学と秋田県、あきた企業活性化センターが協力し、両大学を会場に県内企業の事業内容や製品の紹介、企業の魅力のPRを行っています。両大学とも約250名の学生が来場し、「県内企業の技術力や研究について知ることができ、働くことへの意欲が高まった。」といった感想が寄せられています。



「大学と県内企業による情報交換会」の開催

平成30年9月に県内3会場において、秋田大学、秋田県立大学、秋田高専の就職担当者と県内企業の採用担当者が一堂に会し、就活スケジュールや学生に企業の魅力を伝える研修や事例発表、個別相談会を開催しました。3会場で合計79社の参加があり、「学生の採用について背中を押された。」といった感想が寄せられています。



「ジョブシャドウイング」の実施

秋田県立大学では、主に1・2年生を中心に職場観察型1日インターンシップ「ジョブシャドウイング」を実施しています。この事業は学生に、早い段階で県内企業に関心を持ってもらうことを目的としており、企業との協働により効率的なプログラムを策定し、平成29年度は20社において107名の参加がありました。

参加者からは「業界の現状について話を聞くことが出来て有意義であった。」「将来の仕事について、具体的なイメージを持つことができた。」「社員の方々が強い責任感を持って仕事に臨んでおり、大いに刺激を受けた。」といった感想が寄せられています。

平成 30 年度からは同プログラムをオープン化し、秋田大学の学生も参加しています。

ジョブシャドウイングのプログラム

- ① 代表者からの講話
- ② 社員からの業務内容紹介
- ③ 若手社員とのランチミーティング
- ④ 職場見学
- ⑤ 社員との意見交換
- ⑥ まとめのレポート作成



「地域密着型校外実習」と「COC+研修会」の実施

秋田高専では、「地域密着型校外実習」として県内企業でのインターンシップを単位認定しており、平成 29 年度は 39 名の学生が参加しています。また、秋田高専産学協力会と連携し、県内企業を対象とした「COC+研修会」を開催し、インターンシップをテーマに、企業の人事担当者と高専OBのペアによる講演などを行っています。



秋田県の県内就職支援策

- ・ 秋田県就活情報サイト「KocchAke！」による企業・採用情報の発信
- ・ 「秋田GO！ENアプリ」による就職支援情報の発信と優待サービスの提供
- ・ 学生と保護者に向けた県内就職情報誌の発行
- ・ 女子学生と「あきた女子活応援サポーター」との交流会の開催
- ・ 業界研究会や合同就職説明会（面接会）の開催
- ・ 県内就職者に対する奨学金返還の一部助成（3年間で最大60万円）

上記支援策の詳細情報はこちらからご覧ください。

秋田で暮らそう、働こう！

KocchAke!
秋田県就活情報サイト



第3の柱：ふるさと秋田魅力形成モデルづくり

秋田大学では県内市町村と連携し、スポーツ合宿誘致等による「交流人口の拡大モデルづくり」と、聞き書きボランティアの養成やコグニサイズ運動の展開による「高齢社会でも住みよい・安心感のある地域社会構築のモデルづくり」を展開しています。

首都圏大学スポーツ合宿誘致

- H 28：拓殖大学フェンシング部の合宿誘致（男鹿市 11 名）
- H 29：専修大学・東京農業大学フェンシング部の合宿誘致（男鹿市 42 名）
- H 30：筑波大学等へのバレーボール合宿誘致活動の実施

首都圏大学からの教育実習誘致

- H 29：共栄大学の教育実習生の誘致（東成瀬村 1 名）
- H 30：同上（東成瀬村 2 名、大館市 5 名）



聞き書きボランティア養成講座の開催

「聞き書きボランティア」とは、高齢者から体験談を聞き、その人の一人語りの文体で一冊の本を作成し贈呈する活動であり、高校生などを対象に養成講座や実践活動を実施しています。

- H 29：横手市（高校生 30 名）、秋田市（大学生等 5 名）
- H 30：潟上市（秋田西高 12 名、金足農業 13 名）



認知症予防運動「コグニサイズ」の展開

「コグニサイズ」とは、しりとりや計算など頭を使う作業と有酸素運動を同時に行うことにより、認知機能の維持向上を目指すプログラムであり、秋田大学医学系研究科の教員で組織する「チームコグニサイズ」のメンバーが地域住民への普及活動を展開しています。

- H 28：東成瀬村（9 名）
- H 29：男鹿市「セルフケア講座」（19 名 18 回）
- H 30：潟上市（17 名 21 回）・中間事業報告会の開催（自治体職員等 70 名の参加）



事業成果の情報発信

COC+フォーラムの開催

平成30年3月、秋田大学60周年記念ホールにおいて「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」フォーラムを、秋田大学、秋田県立大学、秋田高専の共催により開催しました。佐竹秋田県知事の特別講演に続き、各大学の地域を志向した教育プログラム改革やインターンシップの促進など、学生の県内就職率アップのための3年間の取組状況とその成果についての発表や、今後の事業展開に関する意見交換が行われました。

大学関係者や県内事業所、自治体関係者を中心に約200名の参加があり、COC+事業の周知を図るとともに、先進事例としての福井大学の事例発表や文部科学省からの助言により、事業協働機関の連携を更に強化し、取組をより充実させていく契機とすることができました。



ホームページによる情報発信

秋田大学、秋田県立大学、秋田高専では、大学のホームページにCOC+事業に関するコーナーを設け、それぞれの事業内容等について情報発信しています。

秋田大学 COC+

秋田県立大学 COC+

秋田高専 COC+

で検索してください。

秋田創生COC+通信の発行

県内事業所の皆様にCOC+事業の周知を図るため、平成30年12月に「秋田創生COC+通信」を発行しました。「大学と県内企業による情報交換会」や「秋田ものづくりオープンカレッジ」など、大学と県内企業の連携した取組や、各大学の地域を志向した教育プログラムの実施状況など、今後も情報発信を行ってまいります。

外部評価の実施

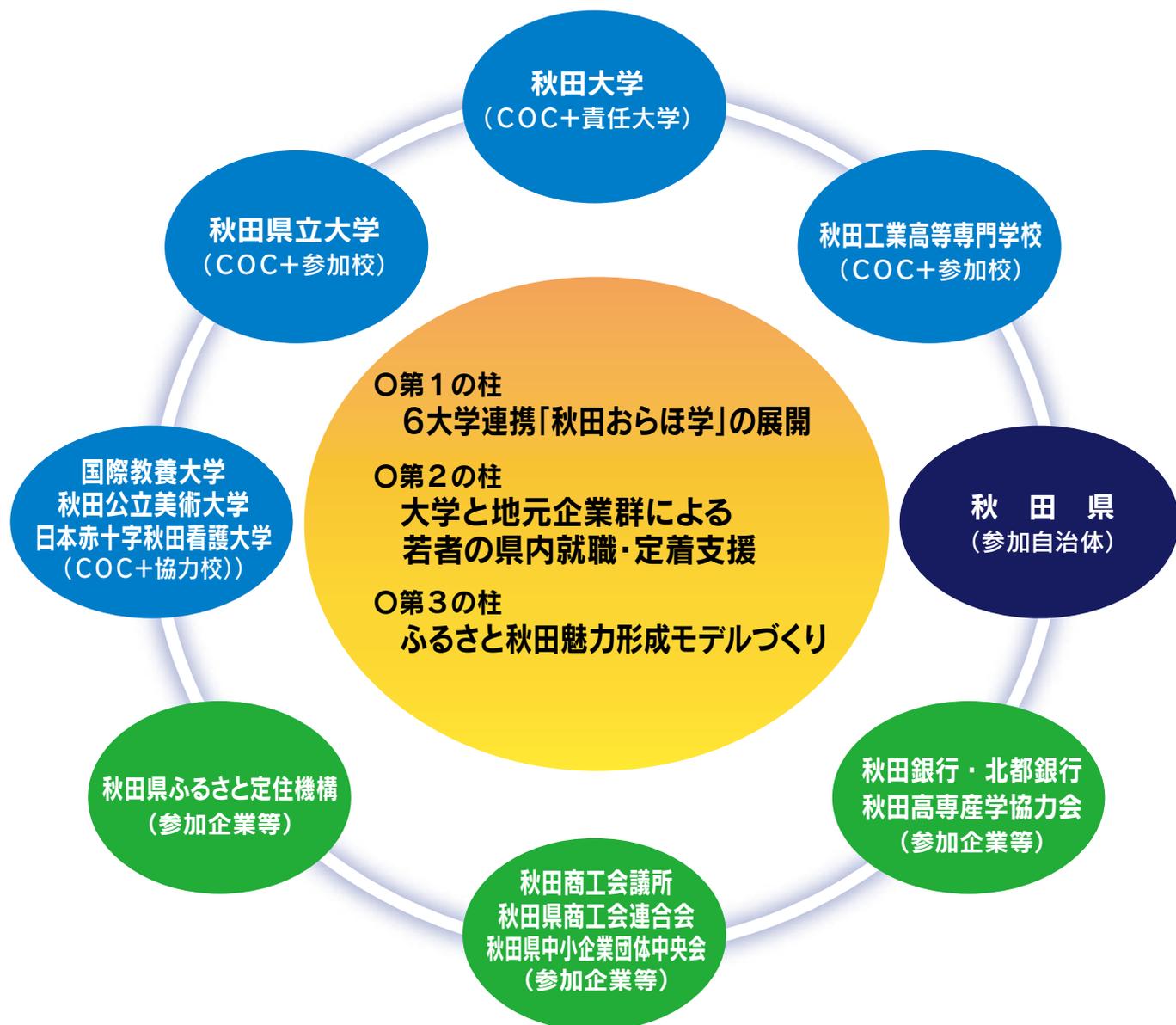
COC+事業の自主的な改善を促し、事業の質の向上、運営の効率化と透明性を確保するため、平成30年10月に外部評価委員会（委員長：曾我亨弘前大学教授）を開催しました。

平成29年度事業実績については「概ね計画どおりの実績である。」との評価であり、「地域の産業を学ぶ科目の開発」「地域志向科目の教育効果を測定し、授業改善を図ること」「専門家を活用したインターンシップの更なる充実」などの提言をいただきました。

こうした提言を踏まえ、今後、COC+事業をさらに充実、発展させてまいります。



COC+の連携図



(事務局情報)

秋田大学 地(知)の拠点推進本部 COC+事務局

住所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

電話 018-889-3246 FAX 018-889-3168 E-mail coc-plus@jimu.akita-u.ac.jp

秋田県立大学 地域連携・研究推進センター

住所 〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西241-438

電話 018-872-1557 FAX 018-872-1673 E-mail: stic@akita-pu.ac.jp

秋田工業高等専門学校 COC+事務局

住所 〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号

電話 018-847-6108 FAX 018-857-3191 E-mail coop-edu@akita-nct.ac.jp